

村田町学校教育環境等のあり方の検討にかかる地区・保護者説明会における質問・要望等

区分	質問・要望等	回答	会場
1. 基本方針	●統合は、決定事項なのか。	○令和2年度の基本方針の見直しの際、児童生徒数の減少を踏まえ、統合する方針となりました。	中央公民館
	●最終決定は、令和6年度内に決まるのか。	○町としては、統合の時期と場所の方針を今年度中にまとめたいと考えています。	中央公民館
	●統合はありきなのか。	○令和2年度の方針決定の際に統合の方針を定めましたので、統合することを基本として、その時期と場所を検討している状況です。	沼辺地区公民館
	●統合について、最終決断はいつ、どこで、誰がするのか。	○説明会等で伺った意見を基に町として方針案を策定し、議会に説明し、承認頂く形で方針が決定されます。	沼辺地区公民館
	●今回の統合は、義務教育の目的達成のために行うものであるという事を書いてほしい。また、誰でも見られるようホームページでそれを公表してほしい。平成30年の基本方針では一中が統合施設となっていたが、令和2年度の見直しでは、令和6年度までの方針決定とすることになったが、その理由が書いていない。平成30年の説明会では、二小を二中に移すと書いてあったものが、令和2年度には小学校も中学校も統合するとされた。	○整合性が図れるようにしていきたいと考えています。	中山地区集会所
	●令和2年度の見直しの資料において、生徒・児童数の推移に、令和10年度には1クラス30名とすると書いてある。35名学級ではなく、独自に30名学級とすることか。クラスの上限人数により先生の数に影響があるので、30人での計算するのであれば、町が独自に生徒数の標準を定め、教員を独自に確保して生徒一人一人に寄り添った指導に配慮していくのか。また、この内容は現在も踏襲されているのか。	○文部科学省で示されているのは、小学校は35人、中学校は40人となっています。当時、教育委員会で町とすり合わせを行い、バックアップしていく形を検討していたと思われますが、見直しされており、現在はそのような考えはないと理解願います。	中山地区集会所
2. 意向調査	●統合後の学校の姿が見えないため、統合に要する準備期間、スクールバス経費を提示してもらい、学校要覧をつけてもらえれば間取りが分かり、統合後の姿や施設的に大丈夫なのかが判断できると思う。		中山地区集会所
	●意向調査の際、統合が決定事項との印象を受けたが、理解していない方が他にもいると思う。町としては、令和11年度に村田小も1クラスになる時点で統合すべき考えだと、統合は決定事項と明確に周知すれば意見も出やすいのではないか。統合に向け、スクールバス運行や児童学級の場所等も同時に考える時期になっていると思う。準備期間に2年必要であれば実質2年間しかないことになる。人口も減少し、幼稚園が統合しても1クラスになり、子どもたちが減り、統合は仕方ないと思っている方は結構いると思う。明確に町の方針を示した方が良いと思う。	○町では、令和2年12月に方針を見直しましたが、その内容については、コロナ禍の影響もあって説明や周知が十分だったのかと言われれば徹底出来ていない点もあったかもしれません。当時、幼稚園統合が喫緊の課題でもあり、当初の方針を見直し、小学校及び中学校も統合せざるを得ないとの方針を示しました。小規模校にもメリットはあると思いますが、世の中にあれば集団の社会になるため、一定程度の集団の中で学ぶ機会を確保することが優先事項と考え、時期と施設は令和6年度までに決定すると定めたものです。これから時期と施設は決めることになりますが、地区説明会終了後、地区説明会での意見や進めている内容の情報共有は必要だと思っています。今回の地区説明会では、具体的な提案はしていないため、提案した後に様々な意見があると思います。スクールバスについては、村田小で既に運行しており、安全に安心して通えるよう、理解を得ながら乗降場所やルートを決めていきたいと考えています。学校の場所が決まらないとルートも具体的に進められませんが、考え方は村田小や幼稚園で行ってきた事を基に設定していきたいと考えています。児童学級についても、町としての案を示して意見を伺いたいと考えています。	村田幼稚園（保護者）
	●保護者に対する意向調査の結果について、学校別の結果も公表してほしい。	○調査結果は、町ホームページで公表していますが、学校別の結果は公表していません。	中央公民館
	●意向調査結果に統合を希望しないとの記載があるが、内容は把握しているのか。	○意向調査には自由記載欄があり、統合を希望しないと記載され、少数ではありますが、統合してほしくないとの想いが記載されていました。以前の幼稚園統合時に苦労したので、現状のまま、可能な限り残してほしいとの意見でした。	沼辺地区公民館
	●小中学校を統合するにあたり、子ども達にアンケートや意見を聴く場はあるのか。保護者や大人達の意見で決めるのではなく、子ども達にアンケート等で意見を聴いたり説明等をする場があっても良いと思う。	○協議の中で、子ども達にどの様に聴けばいいのかとの議論がりましたが、学校そのものをどうするかというテーマは、子ども達にとっては大き過ぎるのではないかと考えています。年度内に方針を決定し、その後、どの様な学校をつくっていくかについての話し合いが始まる予定であり、その段階で、期待すること、今までやってきた活動を継続したいこと等を実際やっている子ども達の意見も聴いた方が良いのではとの意見がありました。新しい学校をどの様にしてゆくかについて議論する中で、子ども達に聴く機会があっても良いのではないかと考えています。	沼辺地区公民館
	●沼辺地区では、幼稚園から中学校まで12年間も一緒のため不満もあるし、子どもには難しいと思うが、直接考えを聴くことも検討してほしい。	○子どもたちに統合についての考えを聴くのは難しいのではないかと考えています。	関場地区集会所

村田町学校教育環境等のあり方の検討にかかる地区・保護者説明会における質問・要望等

区分	質問・要望等	回答	会場
2. 意向調査	●アンケートには、統合に対して前向きな選択肢しかなかった。村小学区と二小学区では結果や割合が全然違うのではないか。二小学区は、吸収されるイメージがあるためマイナスイメージが多く、最後の自由記述欄にも書いたが不安なことだらけである。アンケートも、統合に関して不安があるか等の寄り添った項目であってほしかった。統合に前向きなものでも良いと思うが、回答率は二小が多いが、回答数は村小が多いため、集計すると村小の前向きな考えの意見が反映されると思う。村小と二小の結果を分けて公表し、その上で、不安な部分の解決策を提示してもらいたいと思う。	○アンケート結果は、学区ごとに分けて集計することは可能だと思いますが、それを出すことによるメリット、デメリットがあると思います。そのため、現段階では公表すると回答はできません。しかし、検討する上でどちらの学区からの意見なのかについては、内部では共有させていただきたいと思います。分析する中で、村小と二小に大きな差は無いと思っていますが、一番多い回答が異なる場合もあったかもしれません。選択肢がこれしか無かったとの話もありますが、クラス替えが出来た方が良いと回答した方は二小学区でも少なく、二小学区でも結構な数の方が現状を懸念されていると理解しています。部活動については、特に二小学区の方が心配していました。先日の説明会で、統合が決まっているのであれば部活動も一緒にやるとか、二中に無く、一中にある部活動を希望した場合の環境を先行してはどうかといった意見もありました。より良い環境をつくっていくために、統合に関係なく、可能であれば直ぐにでも行えればと考えています。少数意見の方等、全ての方が納得するのは現実的に難しいと思いますが、方針を提案する際にはできるだけ丁寧に説明していきたいと考えています。	中山地区 集会所
3. 説明会	●今年度中に方針を決定すると説明があり、次回の説明会で提案するとしているが、次回の説明会はいつになるか。その時点で決定事項なのか。説明会は何回予定しているのか。	○今年度中に方針を定めたいと考えており、7月上旬まで地区住民や保護者を対象とした説明会を開催し、説明会で出された意見等を踏まえて再度内部で検討し、方針の選択肢がまとまれば、再度、推進委員会で協議し、その後、町としての案を秋頃に説明会で示してご意見をうかがいたいと考えています。	中央公民館
	●村田地区の説明会でどのような意見等があったのか。	○中央公民館での説明会では、中学校の校舎が築年数も経過しているため新築等は検討しているのか、校舎が条件付きで指定避難所となっているがこの時の条件とは何か、小中一貫校のメリット・デメリットを確認しているのか等が主な質問の内容でした。	沼辺地区 公民館
	●村田地区の説明会の参加人数はどうだったのか。	・村田地区の説明会の参加者は13名だった。	沼辺地区 公民館
	●千塚地区説明会の参加者数と出された意見をお聴きたい。	○参加者は4名で、いずれの方も、その前に開催された別の会場での説明会に参加された方ばかりでした。	沼辺地区 公民館
	●次回の説明会では、方針案が示されるのか。決定ではなく案が示されるのか。	○その予定と考えています。	沼辺地区 公民館
	●他の会場での説明会では、どのような意見が出たのか。	○詳細については、後日、まとめてから何らかの形で報告したいと考えていますが、保護者の方からは、統合後のスクールバス運行に関する質問が多かった印象です。部活動について、統合を見越して統合前に一緒にやるとか、二中に無い部活動でも参加できるようにしてほしい等の提案もありました。幼稚園や保育所で一緒になった子が別々の小学校に進学しえなくなったため、統合を見越して、年数回でも良いので一緒に活動する機会を設けて統合に向けて顔の見える関係を構築してほしいといった提案もありました。施設のあり方等についての意見もありましたが、意見を踏まえて今後検討していきたいと思っています。	沼辺地区 公民館
	●保護者に対して意向調査を行ったが、説明会も行っているのか。	○保護者に対する説明会はこれから開催する予定になっています。	関場地区 集会所
	●統合の方針が決まれば、再度説明会を開くのか。	○当然、開かなければならないと考えています。	中山地区 集会所
	●保護者に対して、何回か説明するのか。	○今回は、これまでの経過と今後の進め方について説明しましたが、方針案を説明する際は、丁寧に開催したいと考えています。	千塚生活 文化センター
	●沼辺地区での説明会で、どのような質問が出たのか。	○保護者から出た意見としては、統合により沼辺から学校が無くなることを前提に、統合後のスクールバスについての意見等が多かった印象です。幼稚園で一緒だった子が別々の小学校に入学したため連絡が取れず寂しい思いをしており、統合が決まっているのであれば同学年で交流してほしいという要望があり、一緒に活動する機会は統合に関わらずあっても良いと思われるため、そのような機会はぜひ作っていきたく回答しました。統合が決まっているのであれば、部活動だけでも先行して合同でやれないのかといった提案があり、同じ部活動同士が一緒にするのは実績がありますが、二中に無い一中の部活に二中の生徒が入ることについては、可能かどうか学校と協議しながら検討していきたいと回答しました。二小学区の地域の方から、地区から学校が無くなれば寂しいため無くさないでほしいとの意見は一部ありましたが、保護者からは、統合したらどの様になるのかといった統合後の学校についての質問が多かったという印象です。	村田小学校 (保護者)

村田町学校教育環境等のあり方の検討にかかる地区・保護者説明会における質問・要望等

区分	質問・要望等	回答	会場
3. 説明会	●中学校での説明会は予定しているのか。	○学校と協議し、学校行事等に併せて保護者向け説明会を開催できないか検討しましたが、村小は3日の授業参観日に、二小は5日の授業参観日に、二中は二小と合同で5日に開催することとしましたが、一中は調整ができませんでした。	村田小学校（保護者）
	●説明会に参加できなかった方へも情報を提供してほしいので、資料等をマチコミメールで流してほしい。広報紙を読まない家庭もあるため、統合について決まった事項や会議の開催状況等についても、教育委員会から情報提供してほしい。	○今回、保護者向け説明会の開催通知に併せて、事前に資料をマチコミメールで提供しました。今後もマチコミメールを活用して、情報提供に努めていきたいと考えています。	村田小学校（保護者）
	●説明会で出た質問等を公表できないか検討してほしい。	○各地区説明会での質問等については、別の会場でも内容を公表してほしいとの意見がありましたので、何らかの形で報告できるようにまとめていきたいと考えています。	村田小学校（保護者）
4. 統合の時期	●小学校は、最短で何年度に統合するのか。	○令和6年度中に方針をまとめた後、事務手続き等に2年程度見込んでいるため、令和9年度が最短と思われます。	沼田地域交流センター
	●幼稚園で一緒だった園児が小学校に進学する際、別々の学校に進学しているのが現状であり、せっかく仲良くなった友だちもいることから、統合まであまり時間を空けないでほしい。	○令和4年度に幼稚園が統合し、保護者の方からはいつ統合するのかといった声が出ていることは承知しています。今すぐには難しいですが、一緒に活動してきたため早く統合したいと考えています。	沼田地域交流センター
	●令和2年の説明会では、最初中学校を統合し、小学校はそのまま説明があったため中学校が先だと思っていた。今回の説明では小学校が先であり、場所もまだ決まっていないのか。	○そのとおりです。	中山地区集会所
	●令和11年度までに統合すべきとあり、準備に2年間必要とあるが、今から2年間という事なのか。	○方針決定後、準備期間が2年は必要と考えています。現時点の考え方としては、小学校は早くても令和9年度に統合となります。	中山地区集会所
	●順番的には、統合は小学校が先なのか。	○そのとおりです。	中山地区集会所
	●統合に関しては、意向調査にも記載されていたので統合は既に決まっているものと思っていた。人口減少もあり、少しでも早い方が子どもたちにとっても良い環境で学べると思う。令和11年が最終目標ではないと思うが、可能であれば早めに進めてほしい。	○出来ることから速やかにやっていきたいと考えていますが、ある程度、時間が必要となる場合があると考えています。過去の統合時に、旧学校で相互交流を実施し、顔の見える環境を作ってから統合した経緯があります。幼稚園や保育所で一緒になったが小学校で別々になり、連絡手段がないために会えなくて寂しいとの話がありました。お互い一緒に行う活動が定期的にあるのが良いのではないかと考えており、顔の見える関係を維持しながら無理や負担なく統合できるように進めていきたいと考えています。	村田幼稚園（保護者）
	●今年度中に方針を決めるとのことだが、統合する時期を明確にして提案する考えなのか。	○統合する時期を具体的に提案することとしています。	村田小学校（保護者）
	●統合の時期は、早めに示してもらえれば保護者も心構えが出来るため、できるだけ早期にお願いしたい。	○統合はできるだけ早期にと思っていますが、準備に一定期間を要するため、来年統合するという訳にはいきません。児童生徒数の減少傾向が止まらないこともあり、今出来ることを早めにやっていきたいと考えています。	村田小学校（保護者）
	●来年、再来年に統合できるのか。	○物理的には可能ですが、どのような活動をするか、今までの二小や村小の活動をいかに継承するか等を検討しなければならず、その検討に最低1年以上かかると見えています。	子育て支援センター（保護者）
	●統合は、最短でいつになるのか。	○最短で、小学校が令和9年度、中学校が令和10年度と考えていますが、今後の進め方によっては令和10年度、令和11年度になるかもしれません。しかし、小学校は令和11年度には両校とも小規模校となることが予想されており、現在7名いる先生の追加配置が減ってくることが見込まれています。教員不足の中、一定規模の学校でないと追加配置されにくいことから、小規模校になる前に統合すべきと考えています。	子育て支援センター（保護者）
5. 統合の施設	●学校が条件付きの指定避難所となっているが、条件付きとはどのような意味なのか。	○村田小学校は土砂災害の恐れが無い時、二小と二中は浸水被害の恐れが無い時に避難所として使用することが可能となる条件がついています。	中央公民館
	●統合後の施設についてもこれから決めるのか。	○統合後の施設については、現在の学校が使えるのか、新たな場所を探した方が良いのか等を含め経費や事務手続き等について整理しています。場所や内容も示せる段階にはなっていないため、具体的にまとまれば再度説明する機会を設けたいと考えています。	中央公民館
	●一中のグラウンドの面積は、資料に記載された面積くらい広かったのか。	○グラウンドは登録している面積であり、敷地に関する面積を記載したものになります。	中央公民館
	●相山公園が一中のグラウンドと認識して良いのか。	○都市公園ではありますが、一中がグラウンドとして借りて使用しています。	中央公民館
	●今後も相山グラウンドを一中の校庭として使用できるのか。	○特別な事情が無い限り、当然、今後も使用していくことになります。	中央公民館
	●小泉周辺に、まとまった町有地は無いのか。	○まとまった土地は、思い浮かびません。	関場地区集会所
	●関場で圍場整備が行われる予定だが、都市計画道路の関係で元関場は圍場整備をしないため、町で学校敷地として買って新たに学校を建築してはどうか。	○田んぼは、場所によっては地盤が落ち着かない可能性もあります。	関場地区集会所

村田町学校教育環境等のあり方の検討にかかる地区・保護者説明会における質問・要望等

区分	質問・要望等	回答	会場
5. 統合の施設	●豪農の館は町の土地なのか。歩道の橋を架け、学校敷地とすることはできないか。	○豪農の館は建物とその敷地のみ町所有で、周辺は個人所有となっています。	関場地区 集会所
	●村田高校がもったいない。村田高校の校舎の一部を中学校で借りることはできないのか。	○村田高校の敷地も候補地の一つとして検討したいと思います。	関場地区 集会所
	●中学校の統合場所は、菅生からも自転車通学ができる小泉とすることはできないか。統合は仕方がないと思うが、現在の一中まで行くのが保護者としては距離的に心配している。	○旧三小跡地も候補地として検討したいと思います。	関場地区 集会所
	●見直しの概要に付帯事項が3項目あるが、二小・二中学区からスクールバス運行とあり、村小・一中に行くことを想定しているのか。このことについて、他の地区説明会会場からは意見は出なかったのか。	○基本方針を定めた時には中学校は一中に統合するとされていましたが、見直しの際には若干ニュアンスが変わり、時期と施設を考える中で二小・二中学区からもスクールバスを運行するとの表現になったと思われます。付帯事項で検討するという考え方だと捉えており、場所が決まった訳ではなく、要件の一つとして運行していない地域での運行も想定して検討することだと受け止めています。場所を決定したとは考えていないため、白紙とは言いませんが、決定ではないと受け止めていただきたいと思います。	中山地区 集会所
	●中学校は施設を整備する場合とあるが、小学校は何も書いていたため、村小に行くことが決まっていると解釈できるのではないか。	○最も新しい校舎ということもあり、明記はしていませんが、村小を基本に考えていくものと考えています。いろいろな考えがあると思いますが、経費的な面も無視できないため、新しい施設でもあり、中心に考えていかなければならないと思っています。中学校は、一中、二中とも年数が経っているため、どちらがより良く、負担も少なく出来るかを総合的に判断していきたいと考えています。	中山地区 集会所
	●何年か前の説明会で、村小には1学年3クラス入るスペースが無いと聞いた。新築したのに、統合については想定していなかったのか。最短で2年後となっているが、3クラスとなる場合には無理やり2クラスに押し込めるのか。	○村小は1学年3学級が可能です。	中山地区 集会所
	●村小は廊下が広く綺麗だと聞いており、二小が可哀想になる。施設だけを考えれば、村小に二小の子どもたちが通い、中学校は二中にすれば済むのではないか。中学校6クラスのために、新築するのは無理ではないか。一中は現状古い、二中はダメだとなれば、小中一貫校の考えもこれからは必要と思う。		中山地区 集会所
	●中学校の統合先としては、村田高校の場所が一番良いと思う。村田高校は人数が減っているし、村田高校は町の管理なのか。	○村田高校は県の管理です。不可能とは言いませんが、所管が異なるためクリアしなければならない課題は多いと思われます。生徒数減少について、県立高校の再編が進められており、遠くない将来、村田高校のあり方が議論されるのではないかとされます。他市町村に中高一貫校の事例もありますが、実情はなかなか厳しく、課題は多いと聞いています。村田高校の場所は候補地としては魅力的ですが、町独自で進められる話ではないため難しいと考えています。	村田第二 小学校・中学校 (保護者)
	●小学校は新しい校舎の学校があるので統合先とすることに理解するが、中学校については具体的な事が記載されていない。中学校は一中を統合先と見込んでいると思われるが、費用的に安価で済むのは理解できるが、地理的に山の上というのが通いづらい印象を持っている。新たな場所に村田中学校をつくる考えはないか。	○施設整備は必要であり、どのようにするかについて今年度中に方向性を定めたいと考えています。安ければいいという訳ではありませんが、予算的な裏付けについても、国の補助等を活用しながら効果的に取り組んでいきたいと考えています。新築、大規模改修それぞれの効果を検討しており、次の説明会で案として提案したいと考えています。	村田第二 小学校・中学校 (保護者)
	●中学校は新築し、小学校は村田小学校を利用する予定なのか。	○中学校を全て新しくするために一定規模の土地をまとめて取得するのは容易ではなく、既存の施設を活用することを基本に進めていきたいと考えています。中学校は、間もなく両校とも50年を経過するため、新築するほうが良いのか、大規模改修したほうが良いのかを検討しています。少なくとも、中学校は施設整備が必要だと認識しています。小学校は、村田小学校が一番新しい校舎であるため、既存の施設を軸に考えていきたいと考えています。	子育て 支援センター (保護者)
	●二小が村小に統合されても、教室数は足りるのか。	○教室数は足ります。	子育て 支援センター (保護者)
6. 施設の整備	●中学校の校舎は、一中、二中とも築年数が経過しており、新築は検討するのか。	○統合する頃には築50年を経過することとなるため、新築も含めて内部で検討しています。今後、新築か大規模改修のいずれかを提案することになると考えています。	中央公民館
	●統合施設について総合的に判断するとあるが、多くの施設が老朽化している中で全てをまとめて新築するのは難しいため、一部を使いながらやっていく認識で良いのか。	○学校敷地は、一定規模の土地がまとまって必要となるため、新たに確保するのは現実的には難しいと考えています。経費もかかるため、今の施設をそのまま使用することはないと考えていますが、経費を一定程度抑え、既存の施設を有効に活用することを基本に考えています。	中央公民館
	●小学校は村小か二小のどちらかを使う、中学校は一中か二中の校舎を使いながら、他の施設を随時改修等で整備していくのか。	○村小を除き、校舎は40年程度経過しているため今のまま使用するのは課題があると考えています。現在の学校の場所を基本に検討し、その結果を案として説明が出来ればと思っています。	中央公民館
	●小中学校の建築等に要する費用は町のみの負担で、国・県からの補助金等はないのか。	○予算は様々なケースを想定して試算しており、小中学校建築に要する費用は町の負担となりますが、国の補助や借入金等もあるので、今後の財政状況を踏まえて検討をしています。	沼辺地区 公民館

村田町学校教育環境等のあり方の検討にかかる地区・保護者説明会における質問・要望等

区分	質問・要望等	回答	会場
6. 施設の整備	●一中校舎は古いため、改修しなければならないが、新築に要する経費と大差がなければ、塩内公園に校舎を新築し、塩内グラウンドや町民体育館を利用することとしてはどうか。なお、プールについては既存のプールに送迎すればいいと思い。	○校舎整備については、安ければ良いということではなく、長期的に使用することを念頭に場所と方法を総合的に判断したいと考えています。新たな場所に校舎やグラウンド等全てを新たに整備するのは現実的には厳しいと考えています。	沼辺地区 公民館
	●今の施設を使うことが前提なのか。	○現在の校舎を大規模改修することがありきではありませんが、新たな土地を取得して全部新しく建築することは、経費的にも、場所の確保についても容易ではないと考えています。	関場地区 集会所
	●学校は安心、安全が第一であり、一中の校舎は築年数がかなり経過していることから、統合にあたっては大規模改修ではなく、新築して子どもたちが快適に学習できるようにしてほしい。	○施設整備はやらなければならないと考えており、国の補助等を最大限活用できるように検討しています。	関場地区 集会所
	●沼辺地区の学校が閉校して村田に通うことになると思うが、村小の体育館は築年数がかなり経過しており、一中の校舎も雨漏りや排水が悪い等と聞いており、新築するよりは安く済む大規模改修をする考えはあるのか。	○コンクリート建築物の耐用年数の目安である50年に近づいているため、このままでは問題があると考えていますが、施設をどの様に整備していくか、内部で検討しています。直して使うのが良いのか、新築が良いのか、経費も含め総合的に検討しており、次の説明会時には具体的な提案をしたいと考えています。	沼田地域 交流センター
	●新築の場合は、工事のみで3年かかるのか。	○施設整備は、新築の場合は最低3年はかかるのではないかと考えています。	中山地区 集会所
	●二小や二中に雨漏りがあり、これこそ早く対応しないとダメではないのか。	○校舎の修繕は、出来る範囲で速やかに対応していますが、老朽化しているため、根本的な修理が行き届いていない箇所があると思っています。限られた予算の中で全部直すことは厳しいため、統合も見据えながら対応していかなければならないと考えています。	岡寄門 ふれあい センター
	●小学校は、耐震性や築年数から村小が統合先となると思うが、体育館は、耐震工事が終わっているものの大規模改修等必要になるのではないか。	○小学校の統合の場所も確定はしていませんが、最も新しい校舎の学校である村小を無視して別に建てることは考えづらいと思っています。体育館については、どの様にするかを今検討中であり、次の説明会では具体的に方針を示したいと考えています。	村田小学校 (保護者)
	●統合する2～3年後には小中学校の校舎の築年数はどんどん経過し、改修を進めるとしても老朽化は否めない。安心して学べる環境とするため、中学校の校舎等を新築することは無駄ではないのではないか。	○校舎等学校の施設の多くが築40年前後経過しているの中で、今直ぐに新築しますという話は出来ませんが、統合に向けて、このままで良いとは考えていません。子ども達が学ぶ環境としては、全てを新しくするのが一番良いと思いますが、物理的にも予算的にも限られている中でどの様な事が出来るのか、安心・安全な環境で学べるように検討していきたいと考えています。	村田第二 小学校・中 学校(保護者)
7. 教職員の配置	●給食センターは、そのまま使用するのか。	○今後、統合しても給食センターから給食を供給していきたいと考えています。	子育て 支援センター (保護者)
	●統合に伴う教員の追加配置は期間限定となっているが、統合により浮いた維持費分で町独自の支援員等を充実させる考えはあるのか。	○統合後の学校のあり方について、町としてどこまで充実させることができるのか、今後検討していきたいと考えています。	沼田地域 交流センター
	●教職員不足により、産休等代替が見つからないのは統合の理由にはならないのではないか。	○統合の理由になると考えています。適正規模校等一定の規模であれば、教職員の追加配置を受けることができます。村小では今年度7名の配置されており、毎年のように病休がありますが、代わりに学級に配置することができています。統合することで1学年2学級を持続することができ、教員の追加配置をうけることができることになります。統合しなければ、村小も二小も教員の追加配置を受けられなくなっていく可能性があり、病休や育休等により教員が休んだ際の初期対応が出来なくなることが想定されます。	中山地区 集会所
	●加配で配置された先生を欠員あった学級に充てるのは本来の目的と異なるのではないか。教員の追加配置の有無による子どもたちへの影響は顕著に表れているのか。	○今、全国的に言われているのは、教員が子どもたちと向き合う時間を確保してほしいということです。小学校の場合、6年生では週30時間となり、登校してから下校するまで休みなく担任はつくことになり、給食時間もない、トイレに行く時間もないというのが二小の現状です。村小は、教員の追加配置が7人いるため、教科担任制や少人数等の形で、学級担任であっても週5～6時間の空き時間が確保でき、教材研究や子どもと向き合う時間として個別の支援等が可能となり、十分定着できない児童に指導が出来ることにもなっています。	中山地区 集会所
	●統合すれば町内全域が学区となり、家庭訪問やスクールバス運行計画を毎月出すことになるため、先生の負担が増えるのではないか。児童生徒数が増えないのに面積が増えるため、統合により先生の負担が増えるのではないか。	○対象となる児童生徒の住んでいる面積が広がるのは事実です。対象人数は、残念ながら減少傾向にあり、生徒の自宅訪問する機会は少ないと思っています。中学校が一つになった丸森町と比べ、村田町は比較的小柄だと思っています。	中山地区 集会所
	●今は家庭訪問はしなくなったようだが、生徒の自宅確認や通学路の危険箇所確認等は町全体と広範囲になり、教員の負担が増えるのではないか。教員の追加配置により担任や教科担任の負担は減ると思うが、教員に対する統合のメリットはあるのか。	○当然、メリットがあるから統合しようとしています。今後、統合の時期や施設が決まれば準備委員会を立ち上げ、そこでの議論の中で課題を浮き彫りにして今後の対応について検討することとしています。危険箇所等の点検については、教員ではなく専門業者等に依頼する等、やり方はあります。統合までの準備期間に課題を整理して統合に進んでいければと考えています。	中山地区 集会所

村田町学校教育環境等のあり方の検討にかかる地区・保護者説明会における質問・要望等

区分	質問・要望等	回答	会場
7. 教職員の配置	●村小へ7名の教員が追加配置されているが、習熟度別の指導は行っているのか。	○週20時間程度行っており、複数学年で指導しています。	中山地区 集会所
8. 小中一貫教育	●小中一貫教育について、現時点でのメリットとデメリットは検討しているのか。	○義務教育学校は県内に4校あり、それぞれ市町村の考えで設置したと聞いていますが、メリットやデメリットは十分な分析がされていないのが現状です。小中一貫教育の学校は3校把握していますが、国が目指す適正規模とは異なることから、今後も情報を収集して検討しますが、現時点での選択としては最善ではないと認識しています。	中央公民館
	●小中一貫校についてはどの様に考えているのか。教員不足や教科担任制の時代であり、小中一貫校を設置することにより沼辺地区に学校を残せないものかと考えている。適正規模や不登校、いじめ等の問題があるが、縦の統合によるメリットについても考える必要があるのではないかと。	○県内に義務教育学校が4校ありますが、ほとんどが令和になってから開設されたため実績が把握できていないこともあり、現段階で強く目指すとの考えには至っていません。小中一貫校は3校がありますが、目的が別にあります。町が目指しているのは、一定規模の集団を確保し、様々な経験を積むことによって社会性やコミュニケーション能力を高めることが学力向上と同じくらい大事と考えており、縦のつながりについてはその次の段階で縦を考えるべきと考えています。町としては、小学生は小学生で、中学生は中学生で一定規模の集団をつくり、様々な経験を積みめらばと考えています。	沼辺地区 公民館
	●村田高校は志願者数も減り、生徒数も減り、あれだけの施設があるのにもたいない。県南には県立の中高一貫校が存在せず、中高一貫校にすることにより中学生が高校生との触れ合いを通して新しいものが出来るのではないかと。村田高校に危機感を持っており、村田高校が無くなれば町が疲弊すると思う。村田の子ども達が自信を持って行ける高校にしながら中学校と連携した方が良いと思っている。	○南三陸の事例について話を聞く機会がありました。沿岸部という地理的条件が要因なのか不明ですが、運営は決して順風満帆ではないとのことでした。所管が県と町で別々になるため、可能なのかも含めて検討したいと思います。	沼辺地区 公民館
	●資料に小中一貫教育の学校については統合後において成果を検証していくとあるが、統合するなら最初から小中一貫で統合してほしい。	○義務教育学校は、令和3年以降に県内で4校出来ましたが、できたばかりであり、具体的な成果は見えていません。小中一貫校は県内に3例あり、それぞれが特色を全面に打ち出して運営されているようですが、それらは、今、町が進めようとしている統合とは目的が異なるのではないかと考えています。小原小中学校は全部で19名の山村留学のような小規模校であり、白石南小中学校は不登校児童生徒を対象とした学校です。町では、一定の集団の中で活動できるようにするため、同学年同士を統合したいと考えています。制度として、統合後に小中一貫校に変更することは可能なため、今後の成果等を踏まえ、検討していきたいと考えています。	沼辺地区 公民館
	●以前の説明会では、中学校は統合し、二中に小学校を持つてくるとの案があったが、今回は、小学校を令和11年度までに統合し、中学校は令和11年度以降に統合するとなっており、以前の案と異なっている。しかし、実際問題として統合しなければ学校が成り立たない数になってきていると感じている。	○中学校同士を統合し、二中を二小とする案は平成30年の最初の方針策定時に議論されました。小学校は複式学級にならない規模であれば当面は統合しない、中学校は一つにすることを目標に課題を検討し、理解を得るようになるという方針でしたが、令和2年に見直した際、児童生徒数が当初見込みより減少しているため統合する方針となったものです。先日の説明会において、二小と二中を統合した小中一貫校の提案がありましたが、町としては、二小、二中が縦に一緒になるよりはクラス対抗で競い合う環境を整えることが大事と考えています。小中一貫教育は、統合後でも必要であれば連携を図る取り組みが可能なため、各学校の効果を見ながら引き続き検討する課題だと考えています。	関場地区 集会所
	●意向調査の結果に「小原地区を参考すれば良い」との意見があったが、統合後に小中一貫教育の成果を検証するということは、将来的に小中一貫にする考えもあるということか。	○県内に義務教育学校は4校ありますが、歴史が浅く、成果が見えていないため現時点で町として強く推し進めるのは難しいと考えています。小中一貫校は県内で3校ありますが、山村留学的な意味合いや不登校に特化した運営となっており、町が目指そうとしている目的とは異なっていると考えています。今後、小中一貫校の良さや学ぶべき事があれば、制度的に移行は可能であり、良いところがあれば取り入れる時期があるかもしれないため、情報収集は継続しますが、今回は見送ることとして考えています。	沼田地域 交流センター
	●小中一貫校の成果等について今後検証していくとあるが、全国的にも小中一貫校や教科担任制を行っている学校はあり、二小、二中を残すためにも、経費がかかるのかもしれないが、中学校に小学校の教室をつくって小中一貫校としてほしい。児童生徒数を見ると、今後も二小は一人二人入れば複式学級にならない人数のため、複式にならないければ残してもいいのではないかと。	○9年生の義務教育学校は、県内では数年前に出来たばかりであり、どのような成果があるのかについては今後になると思います。小中一貫校は、それぞれ別の目的により運営されていると聞いているところです。	千塚生活 文化センター
	●施設面と費用面を考えると、小・小の統合ではなく小・中の統合、つまり小中一貫校あるいは義務教育学校、二小と二中を一緒にして二中の校舎を使い、一中は古い等の意見が出ているためゆくゆくは村小に一貫校等をつくれれば良いのではないかと。同じメンバーのため、登校拒否等の心配も無いのではないかと。小中一貫校は増えてきている気がするし、これからも増えて行くと思う。		中山地区 集会所
	●小規模校として残し、その後、減少に歯止めがかからずどうしようもなくなったら、小中一貫校にすればいいのではないかと。小中一貫は新しいからかそぐわないとなっているが、検討する価値はあると思うので、検討してほしい。		中山地区 集会所

村田町学校教育環境等のあり方の検討にかかる地区・保護者説明会における質問・要望等

区分	質問・要望等	回答	会場
8. 小中一貫教育	●二中の校舎は立派でもったいないため、閑上みたいな小中一貫校にしてみたい。	○令和2年の見直しの時点では小中一貫教育について出始めだったため、町でも検討してはどうかとなったと伺っています。義務教育学校は県内で4校あり、1番古い閑上小中学校は震災により統合しており、令和になってからできた学校は歴史が浅いためメリットが評価されていません。町としては、一定規模の人数の中で切磋琢磨できる環境をつくっていくことが必要だと考えており、小学校と中学校が一緒になっても1学年1学級は変わらないことから、小中一貫校では目的が異なるのではないかと考えています。小中一貫校は県内3校ありますが、それぞれが特別な目的を持ち、設置されていると伺っています。統合後も、別々の小学校と中学校が連携を図るために小中一貫とすることは可能であり、他の学校での効果等を確認できれば今後小中一貫にすることも可能のため、状況を見ながら検討していきたいと考えています。	岡寄門ふれあいセンター
	●義務教育学校とは、どんな学校なのか。	○県内で4校設置された義務教育学校は、9年生の小学校と中学校が一つになった学校であり、一番古いのは震災の影響もあって設置された閑上小中学校です。栗原市が令和3年度に大崎市と色麻町が昨年度開校しています。9年間で学ぶことで、中1ギャップが無い事や9年間で育てていく等の考えのもとで運営していると伺っています。様々な目標を持って開設されたと思いますが、メリット等についてはこれから検証が必要だと考えています。義務教育学校以外に、小中一貫校が県内に3校あります。登米市と白石市に2校あり、独立した小学校と中学校が連携を図って交流しています。小原小中学校は小学校10名、中学校9名の小規模学校、白石南小中学校は不登校を対象に特化した学校であり、それぞれ目的を持って運営しています。事例が少ない事もあり、町としては9年間での教育を目指すより、一定の集団の中で学習し、活動できる環境をつくっていききたいと考えています。	村田第二小学校・中学校(保護者)
9. スクールバス	●統合後のスクールバスの運行経路等の案を提示して検討を進めるべきではないか。	○統合後の施設を示せていないため、様々なシミュレーションはしていますが、未だ提示できる状況ではありません。統合後の施設に目途が付けば、運行ルート等は説明できると考えています。	中央公民館
	●中学校の統合先は一中だと思うが、中学校でのスクールバスは、部活動ごとに終わる時間が違う場合や夏休み中の活動の際にはどの様になるのか。		中山地区集会所
	●スクールバス費用は、年間1,000万円以上かかっているのか。	○そうです。	中山地区集会所
	●二中学区からスクールバス運行となっているが、現在は送り迎えしている状況の菅生・足立地区はスクールバス運行の検討はしないのか。	○統合により、学校が無くなった地区の児童・園児を対象にスクールバスを運行してきました。現在、一中生徒は対象としておらず、今のままで良いのかを議論しなければならないと考えています。これまでも村小学区では、統合後に当初対象ではなかった東足立地区をスクールバス運行ルート上であったことから対象とした経緯もあり、今後検討したいと考えています。	村田幼稚園(保護者)
	●東足立地区だが、中学校になりスクールバスではなく自転車しか選択肢が無いため、中学生になっても引き続きスクールバスが利用できるよう検討をお願いしたい。		村田幼稚園(保護者)
	●スクールバス運行については、村小での運行の考え方を踏襲するとあるが、対象者がかなりの人数となるため、乗降場所、時間帯、ルートを心配している保護者が多い。次の説明会においては、より具体的なルート等の資料を提示してほしい。	○スクールバスについては、統合の場所が定まっていないため現段階では具体的な内容を説明する段階ではないと考えています。考え方としては、幹線道路をメインに、安全に乗降・待機できる場所、一定の区域での場所選定とすることとし、最終的には保護者と相談しながら片道30分以内のルート設定を基本に考えていきたいと思います。統合の場所が決まれば、できるだけ具体的な乗降場所やルート等の案を説明したいと考えています。	子育て支援センター(保護者)
	●中学校にはスクールバスはないのか。小学校までなのか。	○スクールバスの対象の考え方は、統合により通学条件が変わった児童等の通学を支援するものとしており、中学校は統合していないためスクールバスの対象とならず、現在も保護者による送迎や自転車により通学している状況です。統合により旧三小、四小、五小の児童はスクールバスの対象となりましたが、中学校に進学すると自転車通学が保護者による送迎に切り替わっているのが現状ですが、このままで良いのかとの意見もあり、議論の必要はあると考えています。	子育て支援センター(保護者)
	●中学校の統合に併せて、菅生地区からスクールバス利用の要望が出るのではないか。	○通学距離片道6km以上が遠距離通学の制度の対象となり、現在、菅生地区からの生徒にだけ通学補助が出ています。以前は路線バスがあり、バス代を補助していた時代がありましたが、路線バス廃止に伴い保護者が送迎しているため、保護者の負担軽減のため年間2〜3万円を補助しています。補助ではなくスクールバスでとの声は無い訳では無いため、統合に併せて検討したいと考えています。	子育て支援センター(保護者)

村田町学校教育環境等のあり方の検討にかかる地区・保護者説明会における質問・要望等

区分	質問・要望等	回答	会場
9. スクールバス	●沼辺側は大河原や船岡に近いので、スクールバスによる送迎があったとしても、急に迎えに行く場合等が遠くて大変ではないかと心配の声を聞いている。学年や部活動で帰る時間が違うため、スクールバスを何回運行する計画なのか。	○小学校は下校時2回運行していますが、授業時数が毎日違うため、下校時刻に合わせた形で出発するよう調整しています。中学校は、個別事案は除き、部活動等学校の活動に合わせた形でどこまでカバーできるか検討していきたいと考えています。沼辺地区の方は通学距離が遠くなるため心配されているのだと思いますが、スクールバスによる送迎をしていない菅生地区の仙台との境付近の生徒も通っているため、公平性を保ちながら支援できる体制を構築していきたいと考えています。	子育て支援センター（保護者）
10. 適正規模校	●今の小学校2年生と1年生を比べると、30人の劇的な減り方になっているが、原因をどの様に捉えているのか。	○具体的な分析は出来ていませんが、過去には100人台で推移してきた時代があり、徐々にではなくあるタイミングで急激に20～30人減少することが何年か置きに発生しています。	中央公民館
	●適正規模という言葉は大事だと思う。中学校の英語、数学、理科は手間がかかり、ちゃんと教えないと分からなくなってしまう。塾でも個別指導や少人数と言っており、人数が少ないところでやった方が子ども達も伸びるのではないと思う。個人的には1クラス30名未満が適正規模だと思うが、文科省だけは35名だと言っている。小学校は複式学級にならないことが大事。コミュニケーション能力は、少人数学級では難しいが何とかするのはないか。	○小規模校が全てダメとは思っていません。顔が見える関係性や一人一人が様々な役割を担える等、二小は特に地域と一体的に取り組んでいる活動が多く、地域に根差し、愛着が持てる学校だと思っています。小規模校のメリットは認めていますが、一定の人数の中でなければ出来ないこともあると思っています。球技等はクラス対抗で行うのも良い経験になるとの考えもあります。部活動についても、少人数のために選択肢がない、何とかならないかといった意見も聞いています。大河原中のようなマンモス校を望んでいる訳では無く、子ども達が活動する中で制限されることがない、適正規模と言われる35人を超えた2クラスでの活動ができる環境をつくるのが町の責任ではないかと考えています。	沼辺地区公民館
	●二小において小規模校の克服が求められる課題があるのか。	○一例をあげると、小規模校では教員の追加配置が無いため、教員が病休等取得した際、職員不足により後任が見つからず、やむを得ず校長、教頭、教務主任に兼務が発令され、自習や毎時間先生が入れ替わる等の課題があります。	中山地区集会所
	●統合は、児童生徒数が少ないからやるのか。	○それも要因ではありますが、教育基本法や学校教育法等に義務教育の目的が規定されており、その目的を達成するために義務教育の普通教育が行われる、その目的達成のためには当然良い環境の方がいいということです。小規模校だからではなく、教育の目的を達成するための良い環境を作り出すこと、そのための手法として統合をするということだと考えています。	中山地区集会所
	●適正規模校とするためには、学級数は関係あるのか。	○関係があります。	中山地区集会所
	●適正規模校を目指すとしているが、子どもが減少しているのに目指しようにあるのか。	○今の段階で適正規模校とすることができ、それを目指すものです。	中山地区集会所
	●適正規模校となるために統合するのか。	○適正規模は手段、やり方であり、目指しているのは一定規模の集団の中で子どもたちに様々な経験をさせたいという事です。	中山地区集会所
	●集団は学年の人数なのか、クラスの人数のどちらなのか。	○学年の中で、クラス対抗等も必要との考えで、適正規模の環境が必要と考えています。	中山地区集会所
	●児童減少は全国的な課題だと思うが、二小に関しては、球技等クラス対抗の切磋琢磨が無い等は絶対にならない。運動会は盛り上がるし、修学旅行等の行事でも人数が少ないのを理解し、自主的に動いてくれるのが二小の子どもたちであり、縦割り活動は、小規模校だからできる良さがある。子どもたちに聞いても、上から下の学年まで全員の顔と名前を憶えているや、一番嬉しかったのは、新任できた校長が一か月も経たないうちに子どもの顔と名前を憶え、休んでいた事も把握していたため温かい学校だと思っていた。統合したら無くなる訳ではないが、良さが無くなるのではないかと不安がある。二小には二小の良さがあるため、卒にはめないでほしい。中学校や高校になっても文化祭等で活躍していると聞いており、小規模校が悪い事だけではないと知ってほしい。	○小規模校のメリットも認識していますが、適正規模校のメリットと両方を併記して説明すべきだったと反省しています。二小や二中のメリットを否定する訳ではなく、適正規模校のメリットを分かりやすく説明すべきだったと感じています。	中山地区集会所
	●統合せずに小規模校のまま残せばスクールバス費用は浮く。小規模校のメリットは、児童生徒一人一人に目が届くことにある。1学級10人程度であれば基礎学力の向上に効果が期待できる。スクールバスのために見込んだ費用を学力と体力につき込むべきではないか。小規模校であれば教員の退勤時間も早い。検討してほしい。		中山地区集会所
	●適正規模となることにより、クラス替えができ、先生方の配置に関わってくるとのことだが、今の二小、二中が適正でないことにより村小や一中より問題があるのかが分からない。数年後には全ての学校が1学年1学級になるとあるが、適正規模とは何なのか、具体的に分かれれば教えてほしい。児童生徒数を見ると、二小は一人二人入れば複式学級にならない人数であり、複式学級にならないければこのままでもいいのではないか。	○適正規模のメリット等基本的な考え方については文部科学省が示していますが、2クラスになれば、児童生徒の役割を固定化させることなくいろいろな機会を与えることが可能になるのではないかと考えています。小規模校がポテンシャル・メリットを持っているのは理解していますが、否定するのではなく、一定規模の学校とすることのメリットもあると考えた時に、今後の子ども達のためにその環境を整えるのが我々のやるべき事ではないかと考えています。	千塚生活文化センター

村田町学校教育環境等のあり方の検討にかかる地区・保護者説明会における質問・要望等

区分	質問・要望等	回答	会場
11. 統合の準備	●幼稚園で一緒だった子が、小学校に進学する段階でバラバラになり寂しそうだと声があった。幼稚園が一緒であれば同じ学校へ行きたいという子どももいると思う。子どもたちへの配慮のため、時期を早めるとか、進学する学校を選択できると良いと思う。	○昨年度、幼稚園の保護者の方から統合は何時なのかといった照会がありました。保育所の保護者の方からは沼辺に在ですが村小に進学することはできないのかといった問い合わせもありました。事情により、学区外への進学も認められる場合もあります。先日説明会で保護者の方から、統合を見据えて顔の見える環境を維持できるような機会を年1回でもあれば有り難いとの要望がありました。統合が決まれば同学年で交流することとしているが、出来ることを探りながら関係性を維持し、統合に向け、良好なまま進めて行きたいと考えています。	中央公民館
	●統合により、急に知らない人と同じクラスになるのか、その影響が心配だ。	○幼稚園や保育所は、学区が町全域となったため以前よりは関係性はあると考えています。接続の関係で、以前から保育所・幼稚園・小学校が連携して交流し、円滑に小学校へ進学できるよう配慮しています。	関場地区集会所
	●幼稚園統合後に村田幼稚園に行きたくないと言われ、3年間大変苦労したので統合には絶対反対との意見があった。統合までに交流会等を開かなかつたため、吸収された感じがしたこと等が原因だと思う。町全体の事を考えれば統合は必要だが、不登校等が生じないよう丁寧な準備が必要だと思う。	○概要になりますが、児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することにより、一人一人の資質、能力を伸ばしていく、学校の特質を踏まえ、一定の集団規模を確保するのが望ましいという考えのもと、適正規模校という事で、小学校では2～3クラスが望ましいと一定の基準を定めたものです。	中山地区集会所
	●幼稚園で意見が出たように、移行までの期間に月1回位程度交流会事業を行う等、統合を理由に不登校等となるようなことが無いようにお願いしたい。	○過去の統合の際、準備段階で旧学校同士が行き来をして顔の見える環境づくりに努めました。保育所は元々一か所、既に幼稚園は統合し、顔を知っていますが小学校入学で別々になったため、今後統合するのであれば一緒にやる機会をつくって、その先に統合があれば負担が少なくて済むのではと提案がありました。部活動についても提案がありましたが、統合を見据えて一緒にやれることが可能であれば、やりながら切磋琢磨していければ良いのではないかと考えています。直ぐやりますとは言えませんが、学校とも相談しながら、最終的に統合の形になれば良いと考えています。	中山地区集会所
	●学校行事の親子行事等を学年ごとに予定を立てているが、幼稚園、保育所、小学校、中学校にそれぞれに子どもがいる家庭はスケジュールの組み立て方が難しい。教育施設の年間スケジュールが一覧で見られるものがほしい。	○町内の幼稚園、保育所、小中学校の担当で次年度の計画を立てる時に行事調整会議を開き、バッチングしても良いもの、悪いものもあるため、調整しています。重複することは無いと思いますが、各学校で毎月お便りが流れているため、それぞれ学校ごとの行事は把握していると思います。何らかの対策を講じてお知らせできるような体制を検討したいと考えています。	村田小学校（保護者）
	●統合に向けて、教員や役員、外部等で構成する選考委員会をつくり、きちんとした形で進めてほしい。前回、学校の先生も寝耳に水の状況で、噂があった状況で発表された形であった。	○地区代表、各校のPTA会長、幼稚園と保育所の保護者会長、子育て支援センターの保護者代表等で構成する学校教育環境整備推進委員会を5月に設置し、説明会で説明する内容を説明しましたが、今後、広く意見を聴きながら進めていきたいと考えています。	村田第二小学校・中学校（保護者）
	●発達障害や不登校等の児童生徒は、移動等環境が変わることが凄ストレスになる。統合により、学校に行けないような所まで追い詰められる子もいるため、小学校を先に統合してその後中学校が統合する場合、現在の中生は卒業まで中学生とし、新しく入学する子ども達から統合先の学校とすることはできないのか。現段階では回答は難しいと思うが、次の説明会では回答がほしい。	○受験時に環境が変わることへの不安を解消してほしいとの意見だと思いますが、どこかの学年は当たるため、心配や不安等の軽減が課題だと考えています。統合は、来年ではないため統合に向けて課題の解消が出来るかを検討したいと考えています。不登校や別室登校の対応は、総合的に検討したいと考えています。	子育て支援センター（保護者）
	●中学校での統合となれば、思春期の子ども達への環境の変化の影響は大きいと思う。心のケアに対応できるような人材として、支援員やカウンセラー等の配置は出来るのか。	○平成23年に村田小への統合の方針が決まった後、統合される学校の同学年同士が交流する機会が頻繁にありました。顔を合わせる機会を多く確保し、統合時には一定程度の知り合い関係になり、抵抗は少なかったと思っています。当時、統合が理由で学校に通えなくなったとの事例は聞かなかつたと思っています。今回の説明会において、去年まで幼稚園で一緒だったのが今年二小と村小に別れてしまい、合わせたいが連絡先等も分からないとの話があり、統合が決まっているのであれば統合するまでの間、年1回でも一緒に活動する機会を設けて顔を合わせる機会があった方が良いとの提案がありました。授業の中で取り組めるものは、学校と協議して機会を作って行ければと考えています。スクールソーシャルワーカー等の専門の方は実際に学校に配置されています。町にもケアハウスで心の相談等を行っているため、課題を共有して受け入れ態勢等を検討したいと考えています。	子育て支援センター（保護者）
12. 部活動	●子どもが少なくなるため統合はやむを得ないと思うが、部活動が限定され、やりたい部活動に入れないのが困っている。学校はそのまま残し、部活動を一緒にすることはできないのか。	○部活動は、過去に一中と二中の野球部が合同チームとして一緒に参加した実績がありますが、二中にない、一中の部活動に二中の生徒が参加できるかについては、学校に確認し、協議・検討したいと考えています。	沼辺地区公民館
	●中総体が終わって三年生が引退したため、新人戦から出られなくなった部活動が出てきている。既に一中でも廃部寸前の部活動があり、新人戦に出られても中総体までに新入部員が入らなければ廃部となるため、早く統合してもらいたい。二中は、部活動が二つからしか選べないため、早めの対応が必要だと思う。	○部活動に関しては、一中、二中が合同でやれないか、二中にない一中の部活動に二中の生徒が参加できないかといった意見があります。部活動に関しては、統合とは別の課題だと思っており、学校と協議し、統合に向けて一緒に出来るものを探って行きたいと考えています。	村田小学校（保護者）

村田町学校教育環境等のあり方の検討にかかる地区・保護者説明会における質問・要望等

区分	質問・要望等	回答	会場
13. 区域外就学	●中学校の統合先は一中になると思うが、沼辺地区からは遠距離になるため、大河原へ通ったほうが近い児童生徒がでしてしまうのではないか。	○町としては、安全に、安心して通える環境を構築したいと思っていますが、地理的にやむを得ない場合のほか、様々な理由により区域外就学は認められる場合もあります。学校統合により区域外の学校に行きたいとならないように魅力ある学校にしていきたいし、通学の不安を解消できるようにしていきたいと考えています。	沼辺地区 公民館
	●大河原と協議すれば、区域外就学は出来るのか。	○可能です。	中山地区 集会所
	●意向調査に、幼稚園で一緒だったため二小学区だが村小に通わせたいとの意見もあったので、進学を選択肢を広げ、来年度から学区を無くしてはどうか。統合するのであれば将来一つになるので。		中山地区 集会所
	●鹿野地区から大河原に通うのを認めているのはおかしい。統合すれば千塚地区から大河原に通いたいという人が出てくるのではないか。南公地区もいつの間にか沼辺に来なくなり、村田に行くようになった。どの様な経緯で認めるようになったのか。	○区域外への通学の現状としては、鹿野地区から数名が大河原や船泊に通っていますが、地理的な条件でやむを得ない措置として許可されています。地理的条件以外にもいろいろな事情で地元の学校に通えなくなった方への教育的配慮により学区外への通学を認めている場合もあります。町としては、統合した学校に不便なく通える環境を整備し、負担をかけないようにしていきたいと考えており、学区外への通学を希望された場合には、事情をうかがいながら丁寧に説明していきたいと考えています。別の説明会でも、村田町は狭いため学区を無くすことは出来ないのかとの意見もありました。アンケートにも二中の生徒が一中の部活動に入ることや一中の生徒が二中に来るとか出来ないのかと話もありました。統合に限らず、交流や一緒に活動すること自体は良い事と思っていますが、学校として取り扱うことが可能なのか検討したいと考えています。	岡寄門 ふれあい センター
14. 地域コミュニティ	●以前、岩手、秋田、青森等で学校の廃校に伴って地域コミュニティの場が無くなる所を見てきた。確実にその様な傾向を感じていたが、地域コミュニティに関しての考えを聞かせてほしい。	○13年前に統合した時は、菅生、足立、小泉地区で地域から学校が無くなりました。地域コミュニティとの関わりについては、地域の方にも当然示して、この様な状態になることやこの様な方向で進めますとの話を説明会で説明していますが、当然地域の課題の一つになると考えています。先日、学校が無くなったら地域の核が失われるのではないかと心配している方や地域のために学校を残してほしいとうったえる方もいました、新たな形で地域としてどの様に学校と関わっていくか、これまで地域の方々の協力により取り組んできた農業体験や伝統文化の継承等を統合後の学校で引き継いでいけるかを、新しい学校の設置にあたり、関係者と協議しながら検討していきたいと考えています。状況が変わるため、今までと同じ授業が出来ない可能性もあり、地域の中で今後を考える機会にしてほしいと思っています。	中央公民館
	●学校跡地の活用とあるが、草刈り等については地区で順番に管理するのか、町が委託等であるのか。また活用の仕方をどの様にするのか。	○これまで閉校となった学校の跡地利用については、地区で活用できるよう協議を行い、使う団体と教育委員会等で定期的に除草作業等の維持管理に努めてきました。廃校になれば、活用方法については地区が優先的に使えるように協議していきたいと考えています。維持管理については、地区で利用する中で一定程度の管理もお願いすることになると考えています。	岡寄門 ふれあい センター
	●統合したら沼辺が寂しくなる。地域と子どもたちの繋がりが薄くなる、もしくは無くなるのではないかと心配している。朝にスクールバスに乗り、帰って来るのは夕方になるため、子どもたちの姿が見えなくなると思う。統合により、大河原に行くという人も出てくるのではないか。	○学校が無くなれば地域が寂しくなるのご心配は、もっともだと思います。子どもたちの行動パターンも変わってくるため、地域として姿が見えなくなる点でも寂しくなるし、学校活動でも町内全域となり、今までの様な関係は厳しいと思いますが、統合にあたっては村小や二小がこれまで行ってきた活動の中で継続できるものは継続して行きたいと考えています。良いものを全体で共有しながらやれる方法を、統合決定後の計画策定の中の重要事項として検討していきたいと考えています。	千塚生活 文化センター
15. 放課後児童学級	●小学校が統合すれば、放課後児童学級も1か所になるのか。今でも保護者が迎えに行っているのか。	○現在、放課後児童学級は村小、二小双方にあります。統合により児童学級も集約するかどうかはこれから検討することとなっています。統合と併せ、今後提案したいと考えています。	関場地区 集会所
	●菅生や小泉の子ども、小学校で放課後児童学級に行っているのか。迎えも放課後児童学級までなのか。	○二小は二小で、村小は町民体育館で行っており、帰りはそこまで迎えに行くことになっています。	関場地区 集会所
	●児童学級の対象を6年生まで引き上げているが、統合後はどうなるのか。児童学級自体を村田一か所に集約するのか、村田と沼辺の二か所に設置するのか。	○児童学級については、跡地の利活用につながる話にもなりますが、二小が閉校しても児童学級だけでも沼辺に残せないかとの意見だと思います。町としてどの様にするか担当課で検討しており、今後、町としての考えを提案していきたいと考えています。児童学級の対象を6年生まで拡充しており、集約により以前の4年生までに縮小することはありません。	子育て 支援センター (保護者)
16. 給食無償化	●給食費の無償化は、県内でも対応がバラバラだが、村田町の考え方を聞きたい。	○給食費の無償化は県内でも増加傾向となっていますが、財政面で余裕のある自治体で実施し、全国的にも同様の傾向と捉えています。町では以前から町村会を通じて国に給食の無償化について要望しており、引き続き要望していきたいと考えています。	中央公民館

村田町学校教育環境等のあり方の検討にかかる地区・保護者説明会における質問・要望等

区分	質問・要望等	回答	会場
17. 統合反対	●以前統合の話があった際、千塚、日の崎、新小谷地地区の住民の多くは、二小に通わせるために新築したという方が多かったため統合に反対し、結果、統合しないこととなった。二小がマンツーマンで指導を受けられる環境のため新築したという人もいると思う。沼辺地区は団結力が強く、地域に学校を残してもらいたい、小規模校が良いと考えている人もいる。スポーツでも卓球やバスケットで活躍する生徒もあり、マンモス校では無いため先生方も熱心に指導が出来るなど、少人数で活躍するのは素晴らしい事だと思う。		岡寄門 ふれあい センター